

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
0 建築物の環境品質						3.4
Q1 室内環境			0.40			3.3
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	4.0	0.40	
1.1.1 暗騒音レベル	病室の界壁をスラブ・スラブとしている	3.0	1.00	4.0	1.00	
1.1.2 設備騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2.1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30	
1.2.2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境		3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50	
2.1.1 室温設定		3.0	0.38	3.0	0.57	
2.1.2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	
2.1.3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43	
2.1.4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	3.0	-	
2.1.5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
2.1.6 個別制御		-	-	-	-	
2.1.7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-	
2.1.8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		3.0	0.25	3.3	1.00	3.1
3.1 昼光利用		3.0	0.30	4.2	0.30	
3.1.1 昼光率	病室に十分な採光を確保している	3.0	0.60	5.0	0.60	
3.1.2 方位別開口		3.0	-	3.0	-	
3.1.3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30	
3.2.1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
3.2.2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.3.1 照度		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3.2 照度均斉度		-	-	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気環境		4.4	0.25	4.2	1.00	4.3
4.1 発生源対策		5.0	0.50	5.0	0.63	
4.1.1 化学汚染物質	F の内装材を選択している	5.0	1.00	5.0	1.00	
4.1.2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.1.3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	
4.1.4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	3.0	0.38	
4.2.1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.2.2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33	
4.2.3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.2.4 給気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-	
4.3.1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-	
4.3.2 喫煙の制御	敷地内禁煙とする	5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.6
1 機能性		3.4	0.40	4.2	1.00	3.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.60	5.0	0.60	
1.1.1 広さ・収納性	医療治療環境加算の基準を満たしている	3.0	-	5.0	1.00	
1.1.2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	
1.1.3 バリアフリー計画		3.0	1.00	3.0	-	
1.2 心理性・快適性		4.0	0.40	3.0	0.40	
1.2.1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50	
1.2.2 リフレッシュスペース		3.0	-	3.0	-	
1.2.3 内装計画	インテリアパースを作成し、検証している	4.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理		-	-	-	-	
1.3.1 維持管理に配慮した設計		3.0	-	-	-	
1.3.2 維持管理用機能の確保		3.0	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.8	0.31	-	-	3.8
2.1 耐震・免震		4.2	0.48	-	-	
2.1.1 耐震性	1.2倍の割り増しを行っている	4.0	0.80	-	-	
2.1.2 免震・制振性能	免震装置を導入している	5.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.33	-	-	
2.2.1 躯体材料の耐用年数	日本住宅性能表示基準 劣化対策等級2相当	4.0	0.23	-	-	
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-	
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-	
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔	一部に耐蝕性の高いダクトを採用している	4.0	0.08	-	-	
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-	
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	

2.3 適切な更新			-	-	-	-	-
2.4 信頼性			4.0	0.19	-	-	-
1	空調・換気設備	空調・換気設備の系統区分、熱源の二重化を計っている	5.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備	節水型器具の採用、水槽の2分化	4.0	0.20	-	-	-
3	電気設備	非常用発電機の設置、重要機器の地上設置	4.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備	通信手段の複数化、重要機器の地上設置	4.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			3.6	0.29	3.1	1.00	3.4
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	3.2	0.50	
1	階高のゆとり	天井懐寸法を考慮した計画としている	5.0	0.60	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.06(共用部)	5.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		景観条例に沿った計画を行っている	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物の熱負荷抑制		有効な断熱を行っている	4.0	0.30	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		高効率機器、器具を採用している ERR=24.8	4.0	0.30	-	-	4.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	擬音装置、節水型器具を採用している	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.63	-	-	3.1
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	路盤材、集材材の採用	4.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.8	0.22	-	-	3.8
3.1	有害物質を含まない材料の使用	F 建材の積極的な採用	5.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	-	-	
1	消火剤	ハロンを使用していない	4.0	0.33	-	-	
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		運用面で配慮している (LCCO2削減率:22%)	4.7	0.33	-	-	4.7
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な駐車・駐輪スペースを計画	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	日光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	